

みんなで一緒に誰もが安心して暮らせるまちづくりを！



酒生地区

「おしゃべりカフェ」

酒生地区では、毎月第4火曜日に公民館で「おしゃべりカフェ」を開催しています。このカフェの特徴は、「年齢を問わず、誰でも参加 OK！何をしても OK！参加費は無料」なことです。地区の方々の「コロナ禍で交流が少なくなり、寂しい」という声をきっかけに、地区社協が計画し、令和5年6月にスタートしました。

あえて活動内容を決めず、その場の様子や雰囲気ですべて自由に活動しています。参加者同士で自分の得意なことを教え合ったり、折り紙やトランプを楽しむ人がいたり、コーヒーを飲んで喋るだけの時間があったりと自由な交流の場になっています。参加者からは、「ここに来れば誰かがいる。こういった居場所があることがありがたい」という声が聞かれ、毎月の開催をいつも心待ちにしている様子でした。



▲踊りが得意な参加者がいれば、音楽に合わせて皆で踊ります。



▲カフェで使っているお手玉も、地区の方の手作りです。

中藤島地区

「認知症高齢者見守り活動 模擬訓練」



認知症の方への対応の
心得3つの「ない」
「驚かせない」
「急がせない」
「自尊心を傷つけない」



10月22日（日）、中藤島小学校体育館で、4年ぶりに、認知症高齢者ひとり歩き見守り模擬訓練を開催しました。中藤島地区では、地区社協が中心となり、民生児童委員や福祉委員のみならず、一般住民の方にも案内し、自治会連合会と共催にすることで、当日は約70人もの方が参加されました。

模擬訓練は6グループに分かれて行い、スタッフが「コンビニに支払いに行く途中で階段で休憩しているおばあちゃん」や「孫を学校まで迎えに行き迷子になったおじいちゃん」など認知症高齢者役になり、様々な場面設定で行いました。参加者の皆さんは、『認知症の方への対応の心得3つの「ない」』に気を付けながら声かけや見守りを行いました。座学だけではなく、シミュレーションで実際に体験することができました。参加した中学生は、「実際に体験してみて、声かけすることの大切さを知った。これからも地域で困っている人がいたら、積極的に行動していきたい」と話してくれました。

地域全体で見守り、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりを目指して、認知症の方に必要な助けの手を差し伸べられる人を増やしていきたいですね。